

埼玉県納税貯蓄組合総連合会優秀賞

税金が支える安全な生活

深谷市立深谷中学校 二年 内野 朋子

「今年は、梅雨時に結構雨が多かったけど、水門ができたから、稲は大丈夫だったなあ」私の住む家の隣の田んぼで二人のお百姓さんが話していました。私の住んでいる所は、「深谷市田谷」といいます。読んで字のとおり、家の周囲は田んぼで、他より少し低地になっています。

今から五年程前の夏休みに大雨が降りました。大変な雨で、家の前の道路は川のように雨水が流れ、田んぼは完全に雨水でおおわれてしまいました。私たち家族は、九州の父の実家に里帰りをしていて家にはいませんでした。また、飼っている犬も本庄の母の実家に預けていました。それでも、近所の人から、数時間おきに家の様子が電話で伝えられ、「近所は浄化槽のふたが雨で浮き上がって、汚物が流れ出したよ。」とか、「もうすぐ、床下に雨が入りそうだよ。」といった危機せまる内容でした。私たちはどうすることもできず、不安な気持ちで待ちました。その時は、床下直前で雨が止み無事でしたが、九州から帰ると家の周囲に葉をまいたり、水に浸かってだめになった物の片づけで大変でした。隣の田んぼもせっかく育った稲が、水に浸かりだめになっていました。農家の人たちが、ため息をつきながら稲を処理していた姿を今でも覚えています。

大雨の後、洪水になった福川ではすぐに改修工事が始まりました。二年くらい掛けて、川幅が広げられ、水門も新しくなりました。この水門は、私たちの税金で造られたものです。おかげで、これまで毎年「雨は降ってほしいけど洪水にはならないでほしい」と不安な気持ちでしたが、すっかり不安がなくなり、農家の人も安心してお米を作ることができるようになりました。また、川もきれいになり、柵も作られ、子供も安心して遊べるようになりました。私の家では、母が犬のために買った避難用のゴムボートもいらなくなりました。

私はこれまで、税金がどのように使われているか無関心でしたが、福川の改修工事で税金が身近に使われ、私たちの安全な生活を守るために使われていることを知ることができました。

もし、税金がなかったら、私たちはお金を無駄遣いし、道路のほそも、標識も信号もなく、安心した生活はできなくなるでしょう。どこかで地震が起こってもボランティアだけの力では復旧できないでしょう。また、私たちの体育館の改修工事もできず、生活の苦しい人たちは教育を受けられなくなるでしょう。国民一人がジュース代の百円を税金に出せば百二十億円になります。小さな税金でも大きな力になり、私たちの安全な生活をつくることができます。何よりも私たちの基本的な生活の不安を取り除いてくれます。税金は私たちが納め、私たちのために使われる大切な制度だと思います。